

平成23年度（2011年度）

学生募集要項

京都市立芸術大学

大学院 美術研究科 **博士(後期)課程**

京都市立芸術大学 教務学生課（美術担当）

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6 TEL075-334-2220

1 募集人員

美術研究科 博士（後期）課程

標準修業年限 3年

専攻	研究領域	募集人員
美術	日本画 油画 版画 メディア・アート 彫刻 ビジュアルデザイン 環境デザイン プロダクトデザイン 陶磁器 漆工 染織 産業工芸・意匠 保存修復 芸術学	16名

(注) 1. 出願は、一つの研究領域に限る。

2. 上記募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生（若干名）を含む。

2 出願資格

- (1) 修士の学位を得た者及び平成23年3月までに修士の学位を得る見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると文部科学大臣が認めた者
- (4) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院において認めた者で、平成23年3月31日までに24歳に達する者

注：上記(4)の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続きを要するため、1月7日(金)までに教務学生課へ必要書類を提出してください。(次ページ参照)

3 特別選抜（社会人及び外国人留学生）

特別選抜とは、大学院における専門教育の開放と交流を目的とし、一般選抜の学力検査のうち語学試験を免除するもので、前項2の出願資格のいずれかに該当する外国人留学生及び前項2の出願資格のいずれかに加えて下記の各号の一に該当する社会人を対象とする。

- (1) 出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に、正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者
- (2) 出願しようとする研究領域に関連した職種に3年以上の勤務経験を有すると本学大学院が認めた者

- (3) 出願しようとする研究領域に関連した創作活動を3年以上行っていると本学大学院が認めた者

注：出願資格2(4)及び特別選抜の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続きを要するため、1月7日(金){必着}までに教務学生課へ下記の書類を郵送または配送(持参不可)してください。封筒表面に「特別選抜希望」と朱書してください。結果は1月末までにお知らせします。

- [提出書類] ○履歴書(卒業・修了後の経歴を具体的に記載したもの。押印のうえ、写真を貼付)
○業績書(志望研究領域、著書、論文、展覧会出品歴、受賞歴等を記載したもの)
(A4縦長・横書)
○日本語能力証明書(外国人留学生のみ)
(公的機関又は学習した機関による証明書。学習期間が記載され、読む能力、書く能力、話す能力ごとにレベルのわかる内容のもの)

4 出願手続

- (1) 受付期間 平成23年(2011年)2月7日(月)～2月10日(木)[必着]
(2) 出願方法 下記提出書類一式を必ず速達・簡易書留で郵送、または宅配業者により配送してください。(直接大学に持参されても受け付けません)封筒の表に「博士(後期)課程入学願書在中」と朱書きしてください。
(3) 送り先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学教務学生課
TEL(075)334-2220

5 出願書類等

- (1) 入学願書(本要項に綴り込んであるものを使用する)
記入する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、登録原票記載事項証明書に記載されている氏名と同一のこと。その他の提出書類についても同様とします。
※ 入学願書に記載された個人情報を受験手続きのために使用し、それ以外の目的には利用しません。
- (2) 成績証明書
修士課程(またはそれに相当する課程)における成績証明書
- (3) 修士課程(または博士前期課程)修了(また修了見込)証明書
- (4) 写真
出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもの2枚(4cm×3cm)を受験者写真票及び受験票に貼付してください。
- (5) 入学考査料 17,000円
ア 綴り込みの「郵便振替払込用紙」により、郵便局窓口(ATMからの払い込みは不可)へ払い込んでください。(要手数料)
イ 払込みと同時に郵便局より交付される「郵便振替払込受付証明書」を提出してください。
ウ 願書提出後、考査料は一切返還しません。
- (6) 返信用封筒
綴り込みの定形封筒(長形3号)の宛名に志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、650円切手(速達・簡易書留)を貼付してください。
- (注) 本学修士課程修了者及び修了見込者は、上記(2)及び(3)を提出する必要はありません。

6 受験票

提出書類を完備し、上記の出願手続きを行った者には、本学から受験票を送付します。
 受験票が平成23年2月28日(月)までに到着しない場合は、本学教務学生課まで電話で問い合わせてください。

7 試験場所 京都市西京区大枝杵掛町13-6 京都市立芸術大学

8 選抜試験内容及び試験日程等

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(作品、論文、語学、口述)、提出書類を総合して行います。
 なお、語学試験を受験しなかった場合は、口述試験の受験はできません。
 ただし、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜資格認定者については、語学試験を行いませんので、この限りではありません。

(2) 作品及び論文の提出

提出小論文 全研究領域共通内容

以下の各項目について述べよ。

- (1) これまでの制作・研究をふまえて、現段階でのテーマと問題意識
 (研究テーマと関連する写真図版3点以内をふくめること) 2000字以上
- (2) 博士課程3年間の制作・研究の計画
 (各年次ごと具体的に) 2000字以上

各研究領域の提出物内容

研究領域	小論文・論文・作品ファイル		作 品	
	日 時	小論文等の内容、作品ファイルの規格等	日 時	作品の内容、規格等
日本画	出願時 2/7(月)～ 2/10(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文(提出部数: 3部) (1) } 上記, 全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品ファイル 可能な限り右記提出書類を含むものとする。 	3/14(月)	作品3点(100号～150号) (過去2年以内に制作したもの) 提出作品についてのデッサン, 素描, スケッチ等 20枚
	送付のみ 持参不可		搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
油 画	出願時 2/7(月)～ 2/10(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文(提出部数: 3部) (1) } 上記, 全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・ポートフォリオ 1冊 [作品写真ファイル, ドローイングなどA1(594mm×841mm)以内] ※全て2年以内に制作したものに限定。 	3/14(月)	作品5点(227cm×182cm以内) (過去2年以内に制作したもの)
	送付のみ 持参不可		搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時に指示
			搬出日時	3/14(月) 受験者全員の面接終了後
版 画	出願時 2/7(月)～ 2/10(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文(提出部数: 3部) (1) } 上記, 全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 	3/14(月)	作品10点をJPEG形式でCDにして提出(過去2年以内に制作したもの)
	送付のみ 持参不可		搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後

研究領域	小論文・論文・作品ファイル		作 品	
	日 時	小論文等の内容、作品ファイルの規格等	日 時	作品の内容、規格等
メディア・アート	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真及び写真資料(5点以内)	3/14(月)	DVD, CD-ROM のいずれかのメディアにまとめたもの(30分以内)
彫 刻	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真ファイル (過去5年以内に制作したもの)	3/14(月)	代表作に関しては,作品を収録したDVD, またはビデオテープ(VHS :15分以内)の持参が望ましい。
ビジュアル・デザイン	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・ポートフォリオ(A2サイズ)または論文3点	3/14(月)	作品3点以上 (過去5年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時に指示
			搬出日時	3/14(月) 受験者全員の面接終了後
環 境 デザイン	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・専攻小論文 各課題内容に関連し論ずること。(各2000字) 1:地球環境問題に関する環境デザインの課題 2:伝統文化に関する環境デザインの課題 3:環境デザインが果たす社会的役割 必要に応じて写真図版(文字数には含めない)を使用すること。 ・作品ファイル等 A:作品ポートフォリオ:A3ファイル B:VTR, アニメーション:CD-R, DVD に収録のこと。 Bは補足的に使用できる。	3/14(月)	作品3点以上 (過去5年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
プロダクト・デザイン	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・ポートフォリオ(A2サイズ)または論文3点	3/14(月)	作品3点以上 (過去5年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後

研究領域	小論文・論文・作品ファイル		作 品	
	日 時	小論文等の内容、作品ファイルの規格等	日 時	作品の内容、規格等
陶 磁 器	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真ファイル 過去5年以内に制作したもの (10点以上)著書,論文があれば 添付のこと。	3/14(月)	作品3点以上 (過去2年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時 に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
漆 工	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真ファイル 著書,論文があれば添付のこと。	3/14(月)	代表作3点 (過去2年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時 に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
染 織	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真ファイル 著書,論文があれば添付のこと。	3/14(月)	作品3点 (過去2年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時 に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
産業工芸・ 意 匠	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真ファイルまたは論文・ 著作3点及びその題目リスト 可能な限り上記提出作品を含む ものとする。	3/14(月)	作品3点
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時 に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
保存修復	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・作品写真ファイル	3/14(月)	模写作品2点 (過去2年以内に制作したもの)
			搬入日時	3/14(月) 時間帯は受験票送付時 に指示
			搬出日時	3/14(月) 個人面接終了後
芸 術 学	出願時 2/7(月)～ 2/10(木) 送付のみ 持参不可	・小論文(提出部数:3部) (1) } 上記,全研究領域共通 (2) } 内容について述べよ。 ・論文 (ア) 修士課程を修了した者,または修了見込の者は,修士論文の写しを提出の こと。 なお,修士課程を修了した者は,修了後の研究成果,もしくはそれをまと めたもの(20,000字以内)を添付してもよい。 (イ) 上記以外の者は,30,000字以上の論文・著作,またはその写しを提出のこと。 (ウ) (ア)または(イ)のレジメを(4,000字程度)添付のこと。 ※本学修士課程修了者及び修了見込の者は,修士論文の写しの提出を要しない。		

ア 論文,小論文はA4サイズとし,必ず表紙をつけて,表題・氏名・志望研究領域を明記してください。

イ 論文,小論文,作品写真ファイル,その他の著作物については,必ず出願受付期間内に送付してください。直接持参されても受領しません。

ウ 3月14日(月)に提出及び引き取りを行う作品については、配送業者を利用する場合でも、当日に必ず本人が立ち会って行ってください。搬入・搬出場所及び時間帯については、受験票発送時に指定します。前日までに宅配便等で送付しても受領しません。

(3) 試験日程及び試験内容等

[全研究領域]

日 時	試 験 の 内 容 等
3月13日(日) 10:00~11:00	語学試験(共通) ※辞書持込不可 英語, フランス語から1か国語選択
3月14日(月) 10:00~	口述試験(各研究領域にて)

9 合格発表

平成23年(2011年)3月17日(木)午後1時30分に本学正門前に掲示し、合格者には文書で通知します。電話等による問い合わせには、一切応じません。

10 入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は合格通知書と共に送付します。

- (1) 入学手続期間 平成23年(2011年)3月下旬
- (2) 場 所 京都市立芸術大学教務学生課
- (3) 入学料の納付 市内出身者 282,000円
市外出身者 482,000円

注意・市内出身者とは、入学前年の4月1日から引き続き京都市内に居住し、住民票の写し又は登録原票記載事項証明書により証明される者。

- (4) 誓約書の提出(正・副保証人)

[参考] 授業料 年額535,800円(前, 後期に分割納入することができます)

- (注) 上記の入学料及び授業料は、平成22年度入学者の場合であり、料金の改定があった場合は、合格者に通知します。

11 博士（後期）課程概要

本博士課程は、美術工芸の伝統を誇る古都京都にあって、関西圏、ひいては日本の美術教育・研究の中核を担ってきた京都市立芸術大学に属する、美術を専攻とする高度の専門研究課程である。のみならず、現代社会の動向を考慮しつつ、これまで日本文化において京都が果たしてきた役割に対応するユニークな構想に基づくものである。研究教育機関における最高水準の研究内容を提供する組織であることはいうまでもないが、同時に、芸術研究の将来的な展望のため、専門領域の研究だけに閉じこもらない広い視野の獲得を目指し、かつ国際交流、社会活動との交流をも重視した研究組織として構想されたものである。以下に、四本の柱からなる本博士課程の基本構想を述べる。

(1) 専門的研究が出会い、深化する場としての博士課程

まず、大学院修士課程等において積み重ねてきた専門的技能及び専門的学識の研鑽を踏まえた能力の持ち主が、広領域的アプローチを視野に入れて多様な展開を図りつつ、自己の専門の方法理論をさらに深化させる課程として位置づけられている。こうした視点は、多様な価値観、多様な方法論の存在する現代にあっては、芸術研究には欠かすことのできない重要な視点と考えられる。この目的のため、各専門領域の交流を促すべく、専門研究を担う14の専門領域を美術専攻として1専攻組織にまとめ、かつ、研究棟も美術専攻がそのまま収容される独立棟とし、空間的・物理的にも交流が容易となるように工夫を凝らしている。また、このような広領域的なアプローチによる研究をサポートするために、本来の専門の領域研究の他に、「総合制作・理論演習」、「造形計画論研究」といったカリキュラムを設けている。

(2) 国際的な芸術教育・研究の場としての博士課程

次に、芸術研究の分野で高度な国際的研究が交流する場として構想されている。本学は、京都という地にあって、日本の伝統的文化を研究する最適の場として、あるいはコンテンポラリー・アートにおける独自の活動が評価されて、先端芸術の研究にふさわしい場としての国際的な要請が高い。そのことを踏まえ、本博士課程は、最高水準での美術研究のための国際交流の場を提供し、ことにアジア地域におけるハブ的役割を果たすべく構想されている。こうした目的のため、外国人留学生に対して特別入試を実施し、また、交換留学プログラムや客員研究員の受け入れ等、国際的な学術交流の推進も計画している。

(3) 社会との連携の組織としての博士課程

すでに社会人として活動している自立した芸術家や美術工芸家、企業等に属するデザイナー及び研究機関に属する美術理論の研究者を対象として、高度で先端的な水準での再研究を行う場を提供するものである。これは、社会一般だけでなく、地域の芸術関連産業の振興にとっても重要な意味を持つものであり、同時に、個々の作家にとっても自己の芸術の新たな展開をはかる重要な機会を与えるものである。こうした目的のため、社会人に対して特別入試を実施している。

(4) 社会との交流の場としての博士課程

社会人の受け入れとは別に、社会における美術の役割を常に問い直すべく、社会や地域に開かれた専門機関として、ワークショップや公開講座、地域の芸術関連産業等に対する相談事業、産学の共同研究等の交流手段を通して、研究の成果を積極的に公表するものである。

履修課程

履修区分	授 業 科 目	履 修 単 位		
		小 計	中 計	計
必修科目	総合制作・理論演習	2	3	11
	造形計画論研究	1		
	研究領域研究指導			
選択必修科目	領域研究演習 各研究領域	8	8	

〔履修方法及び修了要件〕

必修科目のうち、総合制作・理論演習及び造形計画論研究2科目計3単位、選択科目から各領域研究演習8単位以上を修得し、研究領域研究指導により博士論文等（ただし、研究領域により、副資料として作品を付加する）を作成提出して、審査及び最終試験に合格すること。

12 講義等の内容

(1) 総合制作・理論演習・・・全研究領域対象

本演習は、学生各自の専門テーマを深化発展させるとともに、領域をこえた交流の場として、制作理論上の新たな展開をうながすことを目的としている。学生は、指導教員や他の一般教員、学生等の前で、みずからの研究成果を発表し、自由なディスカッションに参加することとする。博士課程在籍中（原則として二、三年次）に学生は二回の発表をおこなわねばならず、特に二回目は、博士課程カリキュラムの総仕上げとして、学位申請にむけて重要な意味をもつものである。

(2) 造形計画論研究・・・全研究領域対象

美術造形活動をグローバル性と地域性との複合的な観点から捉え、現代におけるその役割と意味について、主として理論的側面からの研究を行う。美術文化に限らず、広く文化という視点から京都の、ひいては日本の伝統の意味について理解を深め、伝統の継承と発展のあり方を問いつつ、グローバルな視点から、それを踏まえた新たな美術のあり方につて、理論または制作例を通して研究する。

(3) 研究領域研究指導・・・全研究領域対象

博士論文作成の指導、並びに博士号審査のための作品制作の指導。

ただし、デザイン系列と芸術学の研究領域においては、論文作成のみとすることができる。

(4) 領域研究演習・・・研究指導内容及び担当教員

☆印は、平成24年(2012年)3月31日に定年退任予定の教員を示す。

☆☆印は、平成25年(2013年)3月31日に定年退任予定の教員を示す。

研究領域・担当教員	研究指導内容
日本画 西田 真人 教授 浅野 均 教授 綾田 勝義 教授 小池 一範 准教授 日影 圭 准教授 川嶋 涉 准教授 小島 徳朗 講師	日本画の技術と理論の研究を通して日本画の創作を研究する。伝統的基盤を踏まえ、技法及び理論面での高度の研鑽を積み、新たな日本画の創造をはかる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本画制作一般、並びに構図法、綿布・紙本膠彩技法による制作研究 ● 日本画制作一般、並びに構図法、紙本膠彩技法による制作研究 ● 日本画制作一般、並びに構図法、麻布膠彩技法による制作研究 ● 日本画制作一般、並びに膠彩技法の展開についての研究 ● 日本画制作一般、並びに紙本膠彩技法によるマチエールの研究 ● 日本画制作一般、並びに紙本膠彩技法による表現研究 ● 岩彩画表現における、多元的可能性考察に基づく制作研究
油画 鶴田 憲次 教授 Simon Fitzgerald 教授 赤松 玉女 教授 石原 友明 准教授 渡辺 信明 准教授 法貴 信也 講師 金田 勝一 講師	油画を中心とした技術による実技と理論の研究を通して絵画の創作を研究する。絵画表現の理論研究とともに、目的に応じた絵画材料や基底材（壁面を含む）の使用法について広汎かつ高度な研究を行い、新たな絵画世界の創造をはかる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 絵画を中心とした技法による作品制作研究 ● 絵画を中心とした技法による作品制作研究 ● 絵画（壁画を含む）を中心とした技法による作品制作研究 ● 絵画（映像を含む）を中心とした現代的な表現による作品制作研究 ● 絵画を中心とした技法による作品制作研究 ● 絵画を中心とした技法による作品制作研究 ● 絵画を中心とした技法による作品制作研究

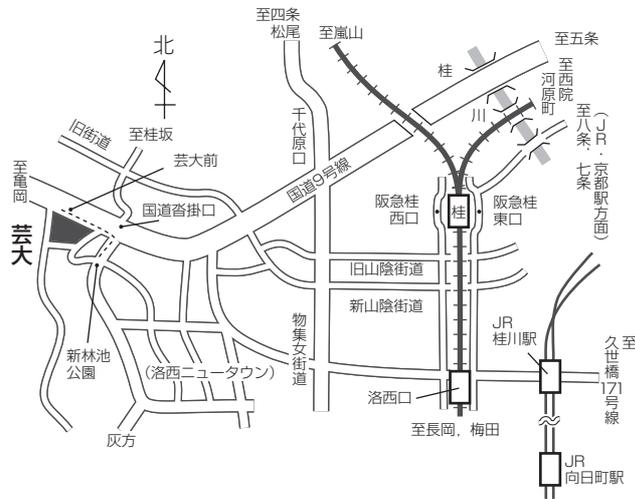
研究領域・担当教員	研究指導内容
版画 木村 秀樹 教授 出原 司 教授 大西 伸明 講師	<p>版画の諸技法と理論の研究を通して版画の創作を研究する。「版」特有の表現方法の研究とともに、技法の広汎かつ高度の研究を行い、新たな「版」表現の創造をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 版画制作全般を指導するとともに、特に現代版画特有の映像と絵画の二極にわたる横断的、複合的表現に着目した作品制作研究 ● リトグラフ及び版画制作に関わるコンピュータ・プロセスを中心とした作品制作研究 ● 銅版画及び併用技法・混合技法に着目した作品制作研究
メディア・アート 中井 恒夫 教授☆ 砥綿 正之 教授 高橋 悟 准教授	<p>映像、コンピュータ、音響などを含む表現媒体を用いたメディア・アートの創作を研究する。表現媒体としてのメディアそのものの理論的考察を踏まえ、現代的な多様なメディアについて広汎かつ高度な研究を行いつつ、新たな表現世界の創造をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 映像と言語、音、光等が複合するインターメディア表現に拘るメディア芸術の広汎な可能性についての制作研究 ● 映像、コンピュータ等を用いたメディア・アートの制作研究 ● 造形メディアによる芸術表現全般の問題をふまえ、身体、空間、時間等を用いた制作研究
彫刻 中ハシクシゲ 教授 松井 紫朗 准教授 中原 浩大 准教授 小山田 徹 准教授	<p>彫刻の実技と理論の考察を通して、彫刻の創造研究を行う。空間的、立体的表現に関する理論の研究とともに、表現意図に応じた素材、技術の広汎かつ高度な研究を行い、空間や立体に作用する諸要素も計測に入れて、新たな彫刻表現の創造をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 彫刻の特に制作に関わる場と時間から、歴史や文化との接点を見い出し、その関係性の中から芸術の意味を探る制作研究 ● 彫刻における複数の視点による空間的分節化と、それらに関係づける媒体の制作研究 ● 現代の社会における芸術活動の“ Another Model ” についての彫刻領域及び脱領域的アプローチによる制作研究 ● 共有空間をキーワードに、様々な場の開発を研究
ビジュアル・デザイン 辰巳 明久 教授 滝口 洋子 准教授 舟越 一郎 講師	<p>人間社会における視覚を中心とした情報伝達に関し、表現・理論の両面から広汎かつ高度な実践的創作研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グラフィックデザイン全般とデジタルコンテンツの活用に関する制作研究 ● ファッション、テキスタイルデザインに関する制作研究 ● グラフィックデザイン全般に関する制作研究

研究領域・担当教員	研究指導内容
<p>環境デザイン</p> <p>池上 俊郎 教授</p> <p>堀口 豊太 教授</p> <p>藤本 英子 准教授</p>	<p>環境デザインに関する実技と理論の研究を行う。対象範囲は、生物の棲息環境の全てとし、空間領域をデザイン対象とする。地球環境問題、歴史学をも視野におき、社会環境、生活環境の現状と動向の理論的研究及び実証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市・地域についての考察を基盤に、建築計画を中心としたランドスケープ・デザイン、家具をも含む環境デザインの全般的な問題についての研究 ● 建築デザイン、インテリア・デザイン、商環境デザインに関する計画・制作・歴史的展開についての研究 ● 広域的な景観から、公共空間を中心とした身近なまちづくりまで、地域社会と結びついた環境デザインを人、経済、社会との関連から研究
<p>プロダクト・デザイン</p> <p>小山 格平 教授</p> <p>塚田 章 教授</p> <p>高井 節子 講師</p>	<p>我々の日常生活に広く存在する工業製品のデザインについて理論的研究を行うとともに、資源問題、エネルギー問題等々、現在の社会的諸問題を踏まえて「人とモノの適切な関係」を軸に工業デザインの実践的研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工業製品が生活や社会に及ぼす影響を考慮しながら、様々な分野に関する工業デザインの理論と実践 ● プロダクト・デザインに関する研究、制作及び伝統工芸の産業化等に関する研究 ● モノのデザインを通じた生活環境の構成と総合的なデザインの研究
<p>陶磁器</p> <p>叶 道夫 教授</p> <p>秋山 陽 教授</p> <p>長谷川直人 教授</p> <p>重松あゆみ 准教授</p> <p>森野 彰人 講師</p>	<p>陶磁素材による創作とその理論を研究する。伝統的な陶磁器制作の研究を踏まえ、新たな視点から技法研究や広く陶磁素材を用いた表現の理論的研究を行い、現代における陶磁表現による創作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 陶磁器の技法と表現に関する実践的研究 ● 陶磁器の技法と表現に関する実践的研究 ● 陶磁器の技法と表現に関する実践的研究 ● 陶磁器の技法と表現に関する実践的研究 ● 陶磁器の技法と表現に関する実践的研究
<p>漆工</p> <p>山中 晴夫 教授☆☆</p> <p>栗本 夏樹 准教授</p> <p>安井 友幸 准教授</p> <p>笹井 史恵 講師</p>	<p>漆を素材とした創作とその理論を研究する。伝統的な漆工制作の研究を踏まえ、塗装方法の比較研究と広く漆を用いた表現の理論的研究を行い、現代的な漆芸作品の創作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 漆と木を活かした造形制作の研究 ● 漆造形の可能性と加飾技法に関する実技的な研究 ● 漆造形の可能性と乾漆技法を主とする素材の実技的な研究 ● 漆造形の可能性と髹漆技法に関する実技的な研究
<p>染織</p> <p>内藤 英治 教授☆</p> <p>ひろいのぶこ 教授</p> <p>三橋 遵 教授</p> <p>藤野 靖子 准教授</p> <p>日下部雅生 准教授</p>	<p>染織に関する創作とその理論を研究する。伝統的な染織制作の研究を踏まえ、新たな視点からの技術研究及び広く繊維を用いた表現の研究など、現代的な染織作品の創造及び理論の研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 染織技法全般に関する創作の理論と実技を指導するとともに、特に型染による創作の実技研究 ● 繊維を主たる素材とし、織の技法を中心とした創作に関する実技研究 ● 染技法を中心とした表現・創作に関する実技研究 ● 織の技法を用いた創作に関する実技研究 ● 型染による創作に関する実技研究

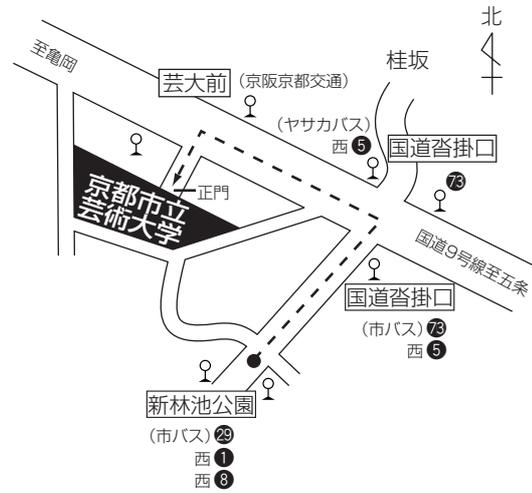
研究領域・担当教員	研究指導内容
<p>産業工芸・意匠</p> <p>山中晴夫 教授(兼任)☆☆</p> <p>内藤英治 教授(兼任)☆</p> <p>叶 道夫 教授(兼任)</p> <p>小山 格平 教授(兼任)</p> <p>塚田 章 教授(兼任)</p> <p>辰巳 明久 教授(兼任)</p>	<p>地域特有の産業活動にふさわしい形態デザイン，装飾デザインの実技と理論を研究する。伝統的な工芸意匠，加飾などデザインの研究とその応用化，産業化についての検証を行い，京都デザイン，日本のデザインなど工芸意匠の創造的研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業工芸全般にわたる意匠研究を指導するとともに，特に漆芸，木工芸における用途性をもった作品制作の研究 染織における産業化のための意匠の実技研究 陶磁器における用途性のある作品研究を指導する プロダクト・デザインの観点から伝統産業領域での意匠・デザインの研究 プロダクト・デザインの観点から伝統産業領域での意匠・デザインの研究 ビジュアル・デザインの観点から伝統産業領域における意匠・デザインの研究
<p>保存修復</p> <p>宮本 道夫 教授</p> <p>(着 任 予 定)</p> <p>定金 計次 教授(兼任)</p> <p>ひろいのぶこ 教授(兼任)</p> <p>赤松 玉女 教授(兼任)</p> <p>栗本 夏樹 准教授(兼任)</p>	<p>文化財の保存及び修復の技術とその理論の研究を行う。日本，東洋の絵画を中心に，西洋画，工芸品を含む文化財の模写，復元を含む修復研究の実技的研究を行うとともに，保存修復に関する素材・技法についての科学的研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存修復技術に関して全般的な指導を行うとともに，特に，日本，東洋の絵画を中心とした修復・復元技術に関する実技的な指導 保存修復に関する素材・技法についての科学的研究 東アジアから南・西アジアに互る，保存修復に係わる絵画技法の歴史的研究 織物，繊維，糸等の素材・技法に関する保存修復方法の研究 西洋古画技法の復元的研究並びに保存修復に関する研究 漆芸品の素材・技法に関する保存修復方法の研究
<p>芸術学</p> <p>潮江 宏三 教授☆</p> <p>渡辺 眞 教授</p> <p>定金 計次 教授</p> <p>伊東 徹夫 教授</p> <p>横田 学 教授</p> <p>三木 博 教授</p> <p>井上 明彦 准教授</p> <p>吉田 雅子 准教授</p> <p>加須屋明子 准教授</p> <p>田島 達也 准教授</p> <p>礪波 恵昭 准教授</p>	<p>芸術現象を対象とした芸術学の理論的研究を行う。芸術現象を対象とした理論的研究，歴史的研究や芸術環境に関する理論的研究，芸術振興に関する研究及び芸術形態に関する高度な理論研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術現象の研究のための方法論的考察及びそれに基づいた西洋の近世・近代美術史の理論的研究 芸術現象の記号学的理論に基づいた考察及びデザイン・工芸を含む造形活動全般についての理論的研究 インド，中央アジア，中国を中心とした東洋美術史及び比較美術史的視点からの日本美術史の理論的研究 工芸史の分野全般における理論的研究。特に陶磁器工芸史の比較論的研究 美術教育の視点からの芸術の普及，振興の問題の理論的研究 美的人間形成論に基づく教育人間学の研究 現代美術，とりわけ環境や場所性と関わる造形の理論と制作研究 日本，中国，西洋を中心とする染織工芸史の比較美術史的研究 現代美術全般，中東欧の近現代美術ならびに美学・芸術学の研究 日本絵画史全般の歴史的研究 日本彫刻史全般の歴史的研究

論文指導教員	潮江 宏三	教授☆	渡辺 真	教授	定金 計次	教授
	伊東 徹夫	教授	横田 学	教授	三木 博	教授
	井上 明彦	准教授	吉田 雅子	准教授	田島 達也	准教授
	加須屋明子	准教授	礪波 恵昭	准教授	柏木加代子	教授☆☆
	田畑 千秋	教授☆☆	魚住 洋一	教授	秋山 哲郎	教授
	高橋 成子	教授	藤原 隆男	教授	上 英俊	講師

◆試験場への略図



◆芸大周辺略図



◆試験場への交通機関

〈最寄バス停〉

京阪京都交通	芸大前	下車すぐ	
市バス	新林池公園	本学正門まで徒歩約20分	
	国道沓掛口	〃	10分
ヤサカバス	国道沓掛口	〃	10分

〈主要ターミナルからの交通機関 (バス)〉

平成22年11月1日現在

	所要時間	
京阪京都交通	阪急桂駅東口 から 約20分	1・2・13 (13Bは除く)・14・25・28系統
	JR 京都駅 から 約45分 (烏丸中央口C2のりば)	2・14・28系統
	JR 桂川駅 から 約15分	11A系統 (平日は8:00~16:00, 土日は8:00~15:00の間, 1時間に1便運行されます。)
		芸大前 下車
市バス	阪急桂駅西口 から 約20分	西1・西5・西8系統 (昼間時間帯(10~16時)は西1系統の代わりに西8系統が運行されます。)
	JR 京都駅 から 約45分 (烏丸中央口C5のりば)	73系統
	四条烏丸 から 約50分	29系統
		西1・西8・29系統 新林池公園 下車 西5・73系統 国道沓掛口 下車
ヤサカバス	阪急洛西口駅 から 約15分	桂坂中央ゆき①系統
	JR 桂川駅 から 約17分	
	JR 向日町駅 から 約20分	
		国道沓掛口 下車

- (注) 1. 交通機関の利用については、路線並びにダイヤの変更、周辺の交通事情等を把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
2. バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

平成23年度京都市立芸術大学大学院

美術研究科 博士(後期)課程 入学願書

受験番号

出願の種類 (○で囲む)	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	
志望研究領域 (○で囲む)	日本画 ビジュアル・デザイン 陶磁器 芸術学	油画 版画 漆工 染織	メディア・アート 彫刻 環境デザイン プロダクト・デザイン 産業工芸・意匠 保存修復	
氏名	フリガナ	男	生年	年
		女	月 日	月 日
現住所	〒 ()	見	自宅 TEL () -	緊急連絡先 TEL () -
語学受験科目 (一般選抜志願者のみ)	英語	フランス語	から1か国語を○で囲む。	
志願する研究領域において、主に行いたい研究について簡潔に述べること。				
見本				

履歴書・業績書

(書ききれない場合は、別紙〈A4縦長・横書〉に記入)

年 月 日

学歴・職歴・業績

(学歴) 高等学校卒業から記入のこと

見本

見

(職歴)

本

(主たる業績)

見

本

平成23年度

受験者写真票

京都市立芸術大学大学院美術研究科
博士(後期)課程 美術専攻

受験番号

研究領域

フリガナ

氏名

19

年

月

日生

男・女

林 聖

写真貼付欄



平成23年度

受験票

京都市立芸術大学大学院美術研究科
博士(後期)課程 美術専攻

受験番号

研究領域

フリガナ

氏名

19

年

日生

男・女

林 聖

写真貼付欄



(注意)

1. この払込用紙は京都市立芸術大学の入学
考査料納入のためのものです。

郵便局の窓口へ払込んでください。

(銀行への払込みはできません。)

2. 払込みの際は必ず三票とも依頼人の欄に
受験生本人の住所・氏名を記入のうえ、
郵便局の窓口へ出してください。

3. 納付後は、一切返金しません。

※ 本払込書は、払込内容を明記した受付証
明書を必要とするため、特に三連式で承
認を受けたものです。したがって一般の
払込書は使用しないでください。

見
(ネリトリ)

振替払込請求書兼受領証

00	大阪	払込取扱票												
口座記号番号														
0	1	0	1	0	1	8	7	2	5	1	7	0	0	0
金額														
千 百 十 万 千 百 十 円														
1 7 0 0 0														
料 金														
備考														
京都市立芸術大学出納員														
※														
京都市立芸術大学入学考査料														
受験するところに印をつけて下さい。														
美術学部						美術研究科								
音楽学部						音楽研究科								
※														
おとところ (郵便番号)														
※														
おなまえ														
様														
(電話番号)														
日 附 印														
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 大 第43741号) これより下部には何も記入しないでください。														

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)
(ご依頼人 → 郵便局・ゆうちょ銀行 → ご依頼人)

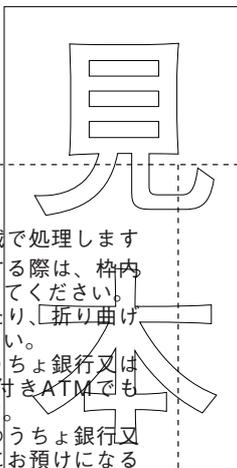
口座記号番号	0	1	0	1	0	1	8	7	2	5
加入者名	京都市立芸術大学出納員									
払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 7 0 0 0									
※	ご依頼人住所氏名									
日 附 印	日 附 印									
(承認番号 大 証第694号)										

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

(のりしろ)

(注意)

◎この「証明書」を、別紙「払込受付証明書貼付票」の上部に離れないよう確実にのり付けしてください。
(学部受験生のみ)



(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

速 達

650円切手

貼 付

簡
易
書
留

受
験
票
在
中

見
本
様

〒610-1197 京都市西京区大枝杵掛町13-6

京 都 市 立 芸 術 大 学
事 務 局 教 務 学 生 課

電話 (075) 334-2220 (美術担当)
(075) 334-2222 (音楽担当)

「様」を「行」に変えないでください。

